

同窓会だより

第63号

発行

長野県松本ろう学校同窓会

年頭あいさつ

松本ろう学校同窓会長 葦澤正敏

新春を迎え、皆様のご多幸とご健康を心からお祈り申し上げます。

昨年11月には突然の衆議院解散で、与野党共に大混乱でした。政党の数が11にもなり、今後の政局がどうなるか大変不安でした。12月に選挙を終え一段落しましたが、これから私たちの暮らしはどうなるのか、不安は消えません。良い政治をしっかりとやってもらいたいと思います。

さて、去年3月24日に松本中央公民館で開催された定期総会で再び会長に就任させていただきました。また、苦勞を承知で役員も引き続き同じ方々にお受けいただき、「共に力を合わせてしっかり頑張りたい。」と決心したのが、昨日のこのようです。

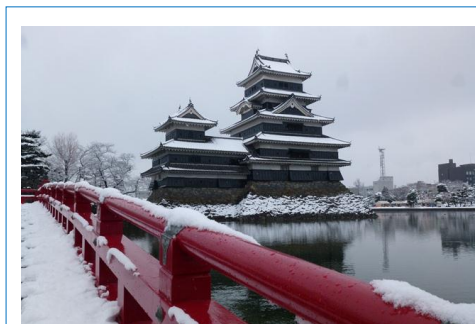
みなさまのご協力をいただき、平成24年度の事業計画についても予定どおり実施することができました。特に10月20日、京都ろう学校同窓会の方々が母校を視察に訪れたとき、小岩井初代校長先生の業績についての質問が殺到しました。松本ろう同窓会としてとても誇りに思いました。

この同窓会だよりについては、これからも発行し中身をより充実させ、会員の皆様にさらに喜んでもらえるよう努めていきたいと思っております。

松本ろう学校を支援するため「松本ろう学校を支える会（仮称）」の設立準備委員会を設け、検討を行ってきた結果、今年中の設立にむけて準備を始めていくこととなりますので、改めてご協力をお願いいたします。

最後になりますが、会員の皆様の一層のご活躍とご健康を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年も何卒よろしくお祈り申し上げます。



雪の松本城（撮影：相澤）

今年もよろしくお祈りいたします

松本ろう学校長 米持絹子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は同窓会の皆様方のたくさんのお心とお力をいただき、松本ろう学校が確かなあゆみを進め、思い出に残る一ページを綴ることができました。特に第42回学校祭では、同窓会の部屋がとても魅力的で、たくさんの方々の足が止まり、また、食堂からのコーヒーの香りに心が温まりました。素晴らしい企画運営に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年もみんなで力を合わせ、笑顔・元気で松ろうを盛り上げていただきますようお願いし、新年のご挨拶といたします。

横山徳三先生『安曇野文化大賞』

元松本ろう学校教諭の横山徳三先生（安曇野市豊科在住）が福祉事業に尽力され、『安曇野文化大賞』を受賞しました。去る 10 月 27 日（土）午後 2 時より安曇野市穂高神社「参集殿」にて授賞式・祝賀懇親会が行われ、相澤英人さん、竹川泰浩さん、私の 3 人が参加しました。松本ろう学校時代、横山先生より技術、工芸、美術、写真等のほか、同窓会相談役としても素晴らしいご指導を頂き、とても幸せでした。（内田博幸）



教え子より横山先生へ花束贈呈

安曇野文化大賞に 2 人

横山さん（豊科）福祉に尽力

地域史研究の篠崎さんほかも

横山徳三先生（豊科）は、地域の文化・自然愛好家として活躍する。安曇野文化大賞の受賞は、その功績を称える。また、福祉事業にも尽力し、地域の発展に貢献している。...



安曇野文化大賞 2 人に贈呈

安曇野の文化・自然愛好家で作る安曇野塾（事務局・安曇野市）は、第24回安曇野文化大賞に大町市文化財審議会委員長の篠崎健一郎さん（88）＝大町市常盤＝と、障害者支援に尽くした元教員横山徳三さん（82）＝安曇野市豊科＝を選び27日、贈呈式を安曇野市で開いた。

主に大町市、北安曇郡内の発掘調査に携わった篠崎さんは記念講演で「一人で成し遂げた仕事は一つもない」と感謝し、山岳信仰にちなんだ遺跡が数多く残る安曇野の歴史に触れた。横山さんは、県松本ろう学校（松本市）の教員として発声を促す機器を開発。退職後は、障害のある息子が「安心して過ごせる施設をつくりたい」と池田町の通所授産施設の設立に関わり、木工指導に当たった経験振り返った。

市民タイムス（2012/10/13） 信毎新聞新聞（2012/10/30）

お悔やみ申し上げます

元私立松本聾啞学校職員・小岩井淳平さん



写真：小岩井校長先生のご子息（小岩井淳平さん）

松本ろう学校・初代校長小岩井是非雄先生の長男の小岩井淳平（こいわい・じゅんぺい）さんが、去る 11 月 14 日（水）、病気のためご逝去、87 歳。

地元出身。長く会社勤めをした。退職後は大好きな野菜作りに精を出し、写真撮影とカラオケを楽しんだ。真面目な人柄を知られた。妻・恵さんとともに息子 2 人を育て、4 人の孫と 1 人のひ孫に恵まれた。

（市民タイムス掲載）

【松本ろう学校の歴史】小岩井是非雄先生が、私立松本聾啞学校（現・長野県松本ろう学校）を創設し、自らは初代校長になられた。しかし苦しい私立聾啞学校時代であり、その職員として小岩井是非雄先生の妹・かよさん（昭和 7 年度）と息子・淳平さん（昭和 19 年度）は、ともに学校運営と発展にご尽力され、非常に素晴らしい功績をあげられた方であった。

（松本ろう同窓会 内田博幸）

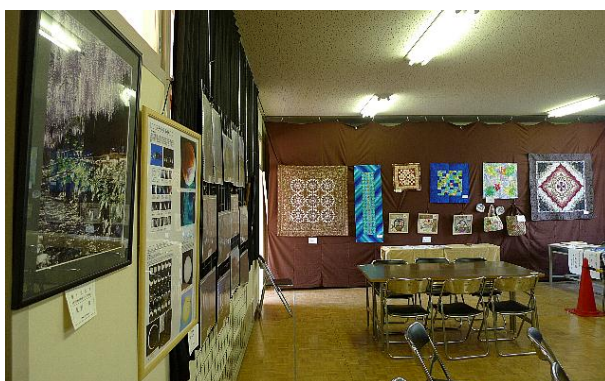
松本ろう学校 『第42回 はと祭』

文化祭『第42回 はと祭』、10月13日（土）（校内公開）、14日（日）（一般公開）が県松本ろう学校にて行われた。

会議室に設けた「同窓会展」では、卒業生方が年に一度、母校に集い、自慢の作品を展示した。沢山のパッチワークと写真、会報等の展示、ビデオ上映「同窓会活動の様子等」と、そして再び「鉄道模型（電車が走る!）」を展示し、子供たちが見に来て大喜びしたり、楽しく交流を深めた。更に、久しぶりに同窓生が沢山来校して、楽しい1日を過ごした。

また喫茶コーナーにて同窓会は「コーヒー販売」を実施し、沢山のお客様が来て「コーヒーの香り、美味しかった!」との感想を頂き、とても嬉しい限りである。

（松本ろう同窓会 内田博幸）



同窓生作品展示の風景



同窓会「コーヒー販売」



記念写真（同窓会役員と同窓会係職員）



「鉄道模型（電車が走る!）」の展示

京都聾学校同窓会との交流会

去る10月20日(土)京都聾学校同窓会の方々が松本ろう学校に来校され、午後3時より松本ろう同窓会長の葦澤正敏さんと京都聾同窓会長の太田要さんの挨拶があり、続いて小岩井先生校長先生の銅像と松本ろう学校校舎外と同窓会のモニュメント(記念)の見学を行った。その後、塩尻市・アスティかたおかへ移動して、「小岩井先生の生涯と松本ろう同窓会活動の様子」のビデオ上映会、宴会(親睦会)、更に二次会と交流を深めて楽しい一夜を過ごすことができた。

(松本ろう同窓会 内田博幸)

10/20 松本ろう学校見学と交流会

秋風さわやかな一日、松本ろう学校の方とアスティかたおかにて交流会をしました。私は、副会長兼事務局長の内田博幸氏のお話に感銘を受けました。歴史的には京都府立聾学校と比べて約半分しかない松本ろう学校ですが、母校への思いは京都の何倍も感じました。交流会の始まる前に伺ったろう学校では、とても美しく長い一本廊下や小岩井先生胸像を見ました。その小岩井初代校長先生がろうあ者で優秀で、松本ろう学校の誇りである事を教えて頂きました。私も小岩井先生の偉大さに感銘を受けました。わが京都府立聾学校の歴史を学ぶ事も大切ですが、他県ろう学校との交流の大切さを感じた一日でした。最後となりましたが、お世話になった方々に御礼を申し上げます。

(京都府立聾学校同窓会長 太田 要)



松本ろう学校見学とアスティかたおかにて交流会



記念写真 (松本ろう学校にて) 2012/10/20

金沢の歴史・風情を楽しむ百万石城下町めぐり一泊旅行

10月27日（土）の秋晴れの日、ワクワクしながら元気にみんなで集まって、金沢から古風な形の素敵なシャトルバスに乗って観光に行きました。京都のような町屋（まちや）の風情あふれるひがし茶屋街の石畳。通りの両面に茶屋造りの紅殻格子（べにがらごうし）などの特徴的な建物が並んでいました。そして、偶然、伝統的な風格のきれいな赤色の着物を着た花嫁さんと新郎さんが、その街を歩き回ってお家に入った様子を見ることができました。

名物の醤油店に醤油アイスクリームがありました。珍しい物ですが評判だそうで、半信半従でしたが、食べてみたら美味しい！！

そのあと兼六園へ行きました。兼六園は、日本3名園のひとつで、江戸時代に加賀藩の前田家が一生懸命に完成させたそうです。その庭に雄々しく伸びる枝振りの松の木があり落ち着いた風景でした。夜に台場という店で新鮮な魚の日本料理を美味しくいただくことができました。

28日（日）、長町武家屋敷跡へ行きました。加賀藩の中級、下級武士の屋敷が建ち並んでいて、黄土色の土塀、武士窓のある長屋門は昔の面影を残していました。前田土佐守家資料館、武家屋敷野村家も見たりして武家文化の歴史的を感じられました。そして、近江市場へ行ったら、沢山の商店が連ね、能登などから取れたカニ、魚がいっぱい並べてあり、皆で楽しく見たり、買ったりしました。その市場は享保（1721）年加賀藩が各地の市を集めたことに始まったそうです。そこには、石川産の米、海の幸のグルメがいっぱいあって美味しく食べつつ楽しむことができました。2日間、無事に観光したり金沢の魅力を体感できました。

（東海分会長 新海和子）



石川県金沢市内の2日間、野田さんに案内して頂き、観光しながら楽しんできた。1日目にいったひがし茶屋街は京都のイメージで昔のままで多くの店が多い。お茶屋の店は、高級品ばかりであった。カフェ&ランチもやってる。しょう油アイスクリームを食べたら、しょう油味で美味しかった。そして兼六園は有名なスポット。徽軫灯笼（ことじとうろう）のある池はとっても美しい。三角すいの雪吊りの縄は見られなくて残念。2日目に訪れた長町武家屋敷跡は昔のままで美しい。自然な所で落ち着いた。そして近江町市場をブラブラしながらお土産を買ったり、昼食は高級品の海新井を食べた。満腹で美味しかった。野田さん、お疲れ様でした。

（水上正子）

【聾史だより④】

お う た ひ

岐阜県立岐阜聾学校「御歌碑」

去る 11 月 28 日、岐阜県立岐阜聾学校文化祭に出かけた。友人の長尾充恒さん（岐阜聾出身校、日本聾史学会役員）より岐阜聾学校のご案内で、視察した。

昭和天皇、皇后両陛下が昭和 40 年に岐阜聾学校をご視察なされたのを記念して、翌年校庭に建立された①「御歌碑」②「天皇皇后両陛下行幸啓記念碑（岐阜県知事書）」があった。これらの石碑 2 体を拝見し、素晴らしいと思った。



①【御歌碑文】『天皇皇后両陛下が昭和 40 年 10 月 26 日本校に行幸啓あそばされその砌（みぎり）本校鼓笛演奏に特別の関心を寄せられました このお歌は翌年新年を迎えるにあたり皇后陛下が親しく本校生徒の鼓笛演奏に想いをはせられ聾者の幸せを祈ってこの光栄感激を長く後世に伝えようとするものであります 昭和 41 年 5 月吉日』

【松本ろう学校の沿革】

昭和 39 年 5 月 14 日には、昭和天皇皇后両陛下が長野県松本ろう学校（美須々校舎・当時の校長伴良次先生）ご視察のため行幸啓、保護者と全校一奉申し上げた。

母校松本ろう学校・校長室に、白いカバー付き）がその記念として永久に大切に保管されており、素晴らしいと思う次第である。

（聾史研究者：内田記）



■ 松本ろう学校 専攻科作品展のお知らせ

・ 日 時：平成 25 年 2 月 2 日（土）～ 3 日（日）

・ 場 所：松本市なんなんひろば

【連絡先】松本ろう学校 FAX0263-85-1411

◆同窓会：東京分会だより

「新年一泊温泉旅行」

・ 日 時：平成 25 年 2 月 22 日（金）～ 23 日（土）

・ 場 所：湯田中温泉（長野県下高井郡山ノ内町）

◎東京分会会員の外、どなたでも参加できますので、

参加希望の方は、東京分会長：福与征夫までお問い合わせください。

※詳しい内容は、チラシを配布いたしますので、ご参加ください。

【お問合せ先】会長：福与征夫 ⇒ FAX 03 - 3916 - 8432

◆同窓会：東海分会だより

・東海分会定期総会は来年の春、日程が決まりましたら、次号の会報に載せます。

□書籍紹介□

日本聾史学会報告書（東京大会）・第 10 集

（1 冊 2, 000 円）

・本誌 91 ページに、「2012 聾史セミナー in 塩尻市」にて、内田の発表した「全国ろう学校同窓会の歴史」（全国各地のろう学校同窓会が、いつ発足し、ろう学校に関する記念碑にはどのようなものがあるのか）の調査報告が掲載されております。ぜひ、ご購入下さい。

（日本聾史学会役員：内田博幸 FAX0263-72-9328）



松本ろう学校同窓会 第 68 回定期総会のご案内

- ・ 日 時：平成 25 年 3 月 23 日（土） 予定
- ・ 場 所：未定 ※来年 2 月、通知を配布しますので、多数ご出席ください。
- ・ 定期総会終了後、午後 1 時より記念講演会を行いますので、下記の通りです。

◆記念講演会のお知らせ



- ◆演題：「ド・レペ神父のよもやま話」
- ◆講師：桜井 強（さくらい・つよし）氏
- ◆講師プロフィール
大阪万博の年に生まれた（1970 年）。愛知県西尾市生まれ愛知県一宮市育ち、3 歳の時、高熱による失聴、愛知県立一宮聾学校幼稚部、小・中・高校は普通校（インテグレーション&デフファミリー出身）
- ◆活動歴：日本聾史学会（元事務局長・前会長、現在会計監査）

※記念講演会チラシは、来年 2 月に配布しますので、多数ご参加くださいますようご協力お願い申し上げます。

■同窓会のホームページと Facebook ページがありますので、ご覧ください。パソコン、スマートフォン（iPhone）、ipad のお持ちの方は、見られます。ご意見、ご要望などがありましたら、同窓会事務局までお寄せください。

（内田博幸 iPhone : uchi39_azumi@i.softbank.jp）



長野県松本ろう学校（同窓会）ホームページ

長野県松本ろう学校同窓会 Facebook ページ